

## 第三者評価結果報告書

### ①第三者評価機関名

特定非営利活動法人 市民セクターよこはま

### ②施設・事業所情報

名称：ベネッセ 保土ヶ谷保育園	種別：認可保育所
代表者氏名：進藤 祐理子	定員（利用人数）： 60名（55名）
所在地：〒240-0004 横浜市保土ヶ谷区岩間町2-113-1	
TEL：045-348-1531	
ホームページ： <a href="https://hoiku.benesse-style-care.co.jp/">https://hoiku.benesse-style-care.co.jp/</a>	

### 【施設・事業所の概要】

開設年月日 2017年4月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）：株式会社ベネッセスタイルケア こども・子育て支援カンパニー		
職員数	常勤職員： 16名	非常勤職員： 9名
専門職員	保育士 17名	看護師 1名
	管理栄養士 2名	調理師 3名
施設・設備 の概要	(居室数)	(設備等)
	保育室4室、調理室1室、職員休憩室1室、事務室兼医務室1室、相談室1室	鉄骨造3階建て、園庭は屋上にある。 多目的トイレ、エレベーターなどはバリアフリーになっている。

### ③理念・基本方針

『その子らしく、伸びていく。』 保育理念：よりよく生きる力(Benesse)の基礎を育てる いきいきと健やかに毎日を過ごし、自信と意欲をもって未来を生きる子どもを育てます。 保育目標：1. 自分で考え、すすんで行動する子ども 自分からすすんで物事に取り組む態度をもち、意欲をもって最後までがんばる子ども 2. 友だちと楽しく遊ぶ子ども さまざまな人とかかわることの喜びを知らながら、楽しく遊べる子ども 3. 感性豊かな子ども さまざまな発見と感動を味わいながら、自分らしさを表現できる子ども 保育方針：① 子どもの「個性と人格を尊重」し、主体性を育てます ② 自然な生活の営みの中で子どもが「安定感・安心感・落ち着きを持てる室内環境」をつくります ③ 深い信頼関係に根ざした「豊かな人とのかかわり」を重視します ④ 身の回りの「社会・自然を通しての学び」を大切にします
--

### ④施設・事業所の特徴的な取組

乳児クラスは、学年別のクラス編成を基本とし、特定の保育者との信頼関係を大切にし、子どもが安心して信頼できる大人との関係をつくり、一人ひとりの子どもが安定感をもって園生活を過ごせるようにしています。
--

3歳児以上は、異年齢でのクラス編成を基本とし、年齢の枠を超えた子ども同士の関わりを通して、思いやりや協力する楽しさを感じ、一人ひとりの個性を認め合い、自分らしさを発揮できるようにしています。

子どもたちが保育園を自分の居場所だと感じ、安心できるような落ち着ける空間づくりを心がけるとともに、兄弟姉妹が少ない最近の家族構成では体験しにくいことを、異年齢保育を通して経験したり、地域や文化を知る機会を提供し、子ども主体の遊びを通して、学びに向かう力を育む保育を実践しています。

『その子らしく、伸びていく。』を支援するために、保育実践の中で大事にしている事を「その子の宇宙が拡がり続けるためのことば」として、40のことばにまとめています。

## ⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2021年5月12日(契約日)～2021年10月26日(評価結果確定日)
受審回数(前回の受審時期)	1回

## ⑥総評

### ◆特に評価の高い点

#### 1. 子どもを主体としての保育が実践されています

保育室には、子どもの成長や興味、関心に合わせた玩具が子どもの目線にあわせて用意されていて、子どもが落ち着いて遊べるようなコーナー設定がされていて、子どもが主体的に活動できるような環境設定となっています。保育士は、子どもが遊ぶ様子を見守り、一人ひとりの子どもの声に耳を傾けて、子どものやりたいという気持ちを引き出すような声かけをしています。幼児は、子ども同士で話し合い、行事や活動の内容を決めています。ポテトチップスを食べたいという声を基に2種類のジャガイモを栽培して食べ比べをしたり、夏祭りのテーマを沖縄と決めてシーサー製作や沖縄民謡を踊ったりと、子どものやりたいという気持ちが保育に生かされています。幼児は異年齢のクラス編成となっていて、5歳児がリーダーシップを発揮して主体的な活動を行う中で、年下の子どもたちも自分の思いを発信できるように成長していて、子ども同士で育ち合う関係ができています。

#### 2. 全職員で全園児のことを共有し、連携して保育しています

保育士は、一人ひとりの子どもの個性や課題を把握し、子どもがその子らしさを発揮できるように保育しています。クラスでの話し合いを始めとしてミーティングや各種会議等で話し合いを重ねて全職員で全園児のことを共有し、同じ対応ができるようにしています。必要に応じて看護師や栄養士も会議に参加し、専門職の視点で意見を出しています。指導計画や保育日誌に、一人ひとりの子どもの良い姿や課題を丁寧に記載し、子どもを制することなく子どもの良さを引き出し、自分からやりたいと思うような保育に繋げています。給食の時、ちゃんと座って食べられないという問題に対して、その場で注意することで食事が楽しくないものになってしまわないよう、遊びの中で手を鍛えたり、体幹を鍛えたりして、落ち着いて食べられるように働きかけたなど、職員間で連携し、子どもの良さを大切にしたい保育を実践しています。

#### 3. 保護者との関係作りに力を入れています

園は保護者が安心して子育てができるように、保護者との関係作りに力を入れています。朝夕の送迎時には、全職員がそれぞれの立場で声をかけ、保護者とのコミュニケーションをとっています。その日の保育の様子を乳児はエピソード記録、幼児はドキュメンテーションで伝えるほか、睡眠やおむつかぶれなどの情報を0歳児保育室に掲示したり、階段の踊場に家でやってみるとよい体操や遊びを写真付きで紹介するなどし、保護者が安心して子育てができるよう支援しています。コロナ禍で親子参加行事の開催は難しくなっていますが、行事の様子を動画に撮って鑑賞会を開催するなどの工夫をしています。

#### ◆さらなる取り組みを求められる点

##### 1. 業務の効率化のためにも記録の簡素化へのさらなる工夫が期待されます

指導計画や日誌、経過記録など子どもに関する記録は、フォーマットがきちんとできていて、子どもの様子がよく伝わります。ただし、会議録などは職員それぞれに任されていて、他の記録と重複している部分も多く、参加していない職員にとってはわかりにくいのではと思われるものもあります。

また、指導計画などはデジタル化されていますが、手書きのものが多く、中には重複しているものも見られます。手書きの良さが生かされるものかどうか職員間で検討していくことが望まれます。

今後は、事務負担の軽減や業務の効率化のためにも、記録の簡素化や定型化、デジタル化に向けたさらなる取り組みを進めていくことが期待されます。

#### ⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

第三者評価を行ったことにより、日々の保育や保護者の方との関り、保育園を取り巻く地域の環境など、様々な面で振り返り・考え・見直す機会となりました。

保育への思い、取り組みに対して評価していただき、スタッフ一同自信となりより良い保育への意欲となりました。

保護者の方には、今以上にご満足いただける対応を目指し、そのために必要なことを今後も話し合い取り入れていきたいと思っています。

ご指摘いただいた業務の効率化については、スタッフと話し合い次年度に向けて大きく改善をしていきたいと思っています。

地域との連携も今まで以上に、より密に行えるよう働きかけていきたいと考えています。

保護者の方が重視している戸外遊びについては、屋上の活用も含め運動遊びへの充実を図り行っていることを保護者の方に発信していき、園での活動をより「見える化」していきたいと思っています。

引き続き、子どもたちが主体的に活動に取り組み、安心していただける保育園であるよう努力し続けていきたいと思っています。

保護者の皆様には、ご多忙にも関わらずアンケートにご協力いただきありがとうございました。

ベネッセ 保土ヶ谷保育園  
園長 進藤 祐理子

#### ⑧第三者評価結果

別紙2のとおり